

## 国立大学法人豊橋技術科学大学次世代育成支援行動計画（第7期）

職員が仕事と子育て・介護を両立させることができ、職員全員が働きやすい環境をつくることによって、全ての職員がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のように行動計画を策定する。

### 1. 計画時期

2022年4月1日から2027年3月31日までの5年間

### 2. 内 容

(1) 妊娠中の職員及び子育てを行う職員等の職業生活と家庭生活との両立等を支援するための雇用環境の整備

目標1 女性男性を問わず育児休業を取得しやすく、また職場復帰しやすい環境を整備する。

<対策>

- ① 育児休業や育児部分休業、短時間勤務等の各種制度をホームページ等で紹介し、利用しやすい雰囲気を醸成する。
- ② 長期の育児休業をする職員に対して、職場情報の共有や能力開発の機会を提供し、復帰しやすい環境を構築する。
- ③ 不妊治療を受ける職員に配慮した環境の整備を検討する。

(2) 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備

目標2 所定外勤務時間を減少させる措置を実施する。

<対策>

- ① 事務業務の全体最適化を目指し、業務の簡素化・合理化を進める。また業務に応じた人員の再配置を実施する。
- ② 恒常的に長時間勤務がある職域については人員増の配置を検討する。

目標3 多様な働き方を促進する。

<対策>

- ① 在宅勤務制度や早出遅出勤務制度の利用を促し、子育て・介護を行う職員のワークライフバランスに応じた働き方ができる環境を整備する。
- ② ワークライフバランスに関する講演会や働き方を見直す研修等を実施し、管理職を含めた職員全体の意識改革を推進する。